

提出 順番	No. 6	令和 7 年 8 月 29 日 午前・午後 / 時 12 分受領
----------	----------	-------------------------------------

令和 7 年 8 月 29 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 荒 貴賀 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 安心安全な学校給食を	深刻な物価高騰がつづくもとで、教育費における保護者の負担軽減の観点からも学校給食費の無償化が行われています。一昨年文科省調査（2024年6月12日公表）では、公立小中学校等で、何らかの方法で学校給食費の「無償化を実施中」と答えたのは722自治体で約4割に達しました。無償化の目的については、「保護者の経済的負担の軽減、子育て支援」との回答が最も多く（652自治体）、次いで「少子化対策」（66自治体）などが続きます。また、東京都では今年1月から全自治体が無償化となるなど、各地で無償化が広がっています。 学校給食費の無償化の広がり、自治体を動かし、政治を動かしています。 石破首相は2月の国会で「2026年度以降、できるだけ早期の制度化を目指したい」と言明。2025年度予算成立のために結んだ自民・公明・維新の3党合意文書（2025年2月25日）には「まずは小学校を念頭に、地方の実情等を踏まえ、令和8年度に実現する。その上で、中学校への拡大についても、できる限り速やかに実現する」とされ、6月の「骨太の方針2025」において給食無償化は「令和8年度予算の編成過程において成案を得て実現する」とされました。 幕別町においても政府の予算編成の動向を注視しながらも、国の「予算待ち」にせず、町独自の制度の創設・拡充を求めるところであり、学校給食は子どもの成長を支えるセーフティネットとしての機能に加え、食育の推進など多岐

2 教育費の負担軽減のため教材を学校備品に	にわたり重要な役割があることから以下の点について伺います。 (1) 様々な事情で朝食を欠食する子どもがいるなど、給食は子どもの食のセーフティネットの役割の面もあり、給食の質の確保は、重要であると考えますが、町の考えは。 (2) 現下の物価高騰による給食費の負担軽減策は。 (3) 今後、学校給食費を無償化する考えは。 文科省の「子供の学習費調査」によれば、学用品費や制服代などの学校教育費は、公立小学校で2021年65,974円から2023年81,753円、公立中学校で2021年132,349円から2023年150,747円へと負担が増えています。文科省は今年6月「学校における補助教材及び学用品等に係る保護者等の負担軽減について」の通知を発出しました。内容はこれまで保護者等負担で毎年購入していた教材を学校備品として整備することで、保護者等の負担軽減を図った自治体があることや財源は地方財政措置が取られているというものです。幕別町も積極的に取り入れるべきと考えますが町の考えを伺います。
------------------------------	--

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。